



NET THE BEST PROFIT AND FIND FISH FASTER

# FLEET XPRESS

FOR FISHING

**CASE STUDY**  
TOEI REEFER LINE

# CASE STUDY

## 東栄リーファーライン

### 刺身用マグロ運搬の超低温船が、より高品質なサービス導入に向けKUバンドVSATから乗り換え、「FLEET XPRESS」採用

東栄リーファーライン（本社＝東京）は、世界でも数少ない特殊な船型を複数保持し、刺身用のマグロを輸送する世界有数の企業です。

同社は、海上で漁獲されたマグロを日本や韓国などへ輸送する船舶と、地中海沿岸やオーストラリアを中心に運航する工場船の2種類を保有しており、それぞれに特徴を持ち合わせ、よりグルメな日本の消費者をターゲットにしています。品質はサプライチェーンのあらゆる段階で必要とされるものですが、お客様は常に、より確実なオンラインサービスに付随したカスタムメイドなサポートやきめ細やかなサービスなどの配慮を求めています。

海上では、1隻の東栄リーファーラインの保有船に、最大で50人のスタッフが乗船しています。品質を維持するために、-55℃という低温で高価値の貨物を加工、準備、保管する高度な船舶に荷物を積み込み運航に従事するなど、東栄リーファーラインでは、熟練の乗務員がそうした運航業務に大きく貢献しています。長期間の航海はもとより、特に遠洋航海を強いられる漁船などの船舶では、乗組員が労働条件に満足し続けることが不可欠であり、そのためには多大な投資が必要となります。



# CREW向け福利厚生強化、 グローバルなカバレッジエリア

大西洋、太平洋、インド洋、その他の海域に配船されている東栄リーファラインでは、国際貿易船4隻の衛星サービス提供を最近変更いたしました。その主な理由として、同社は主に乗組員向けの通信の接続性・通信速度の向上、サービスの提供カバレッジエリアの広さを挙げています。同社はこれまで、KuバンドVSATを利用していましたが、この度、インマルサット社のFleet Xpressに乗り換えていただき、また付随サービスであるFleet Careサポートサービスも含め契約を締結しました。契約にあたり同社の担当者は、「VSATプロバイダを選定する上で、カバレッジエリアの広さ

と信頼できる担当者の存在・サポートは非常に重要です。インマルサットFleet Xpressはその点素晴らしく、他の競合他社を大きく引き離しています。」とコメントしています。

乗組員には、プライベートでのインターネット利用のため1人あたり10GB/月を無料付与し、それ以上の利用については専用の別通信帯域によるプリペイドインターネットサービス「Fleet Hotspot」をできるようにしました。Fleet Hotspotは、乗組員の利用が業務通信に影響を与えずに、プライベートインターネット利用を可能にします。



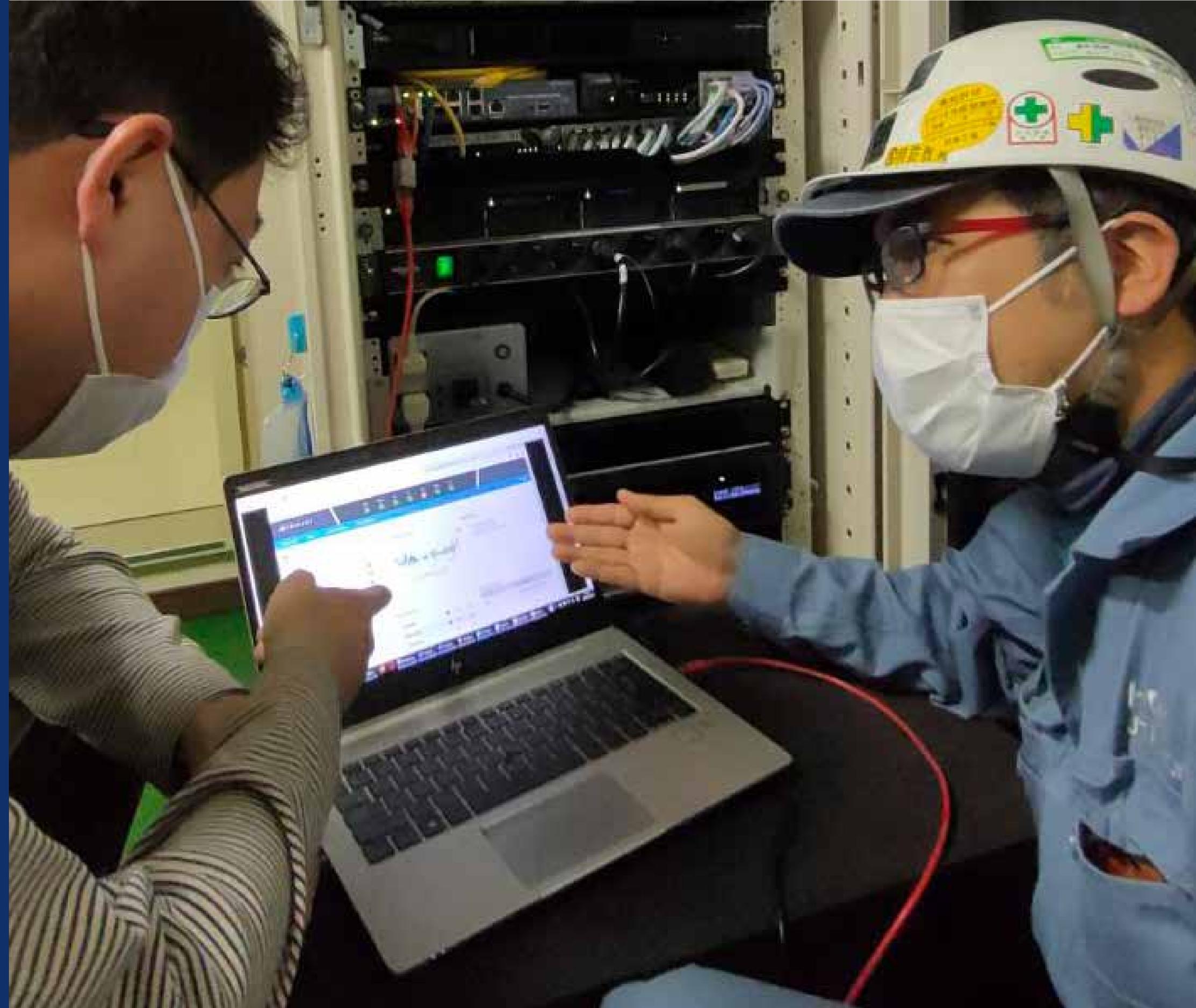
# FREET HOTSPOT - 業務通信に影響を与えない、 快適なCREWインターネット

東栄リーファーラインは、Fleet Hotspotを利用することで、業務に必要な帯域・通信速度を損なうことなく、乗組員、その他乗船者やベンダーに快適なインターネットアクセスを提供しています。

また同社の広報担当者は、「乗組員に無制限のインターネットを提供することは、洋上生活が長い乗組員の福利厚生の中で、とても有益です」と述べています。

高速のKaバンド (GX) と、いつも繋がる安定通信のFleetBroadband (Lバンド) を組み合わせた安心のサービスとして、Fleet Xpressは現在世界中で11,000隻以上の船舶に導入され、特殊な船泊にもますます支持され続けています。

Fleet Xpressは、Kuバンドの約2倍の最大情報速度 (MIR) に近いデータ速度を日常的に提供していますが、特にビジネス面では、VPNネットワーク、TeamViewerによるリモートアクセス、船上でのCCTVが可能になるというメリットがあります。他のVSATプロバイダーではFBBなどバックアップ通信利用の際は別途追加料金を請求されることがありますが、Fleet Xpressでは契約内容に含まれており、月額料金は定額です。





## 船舶管理の効率化へ向けて - 本船の様々なデータの分析・活用

また東栄リーファーラインでは、インマルサットのIoTプラットフォーム「Fleet Data」も併せて搭載され、船舶管理の効率化へ向け、本船の様々なデータの分析・活用をおこなう準備も整っています。

インマルサットFleet Xpressは価格設定も「魅力的なもの」だと東栄リーファーラインでは考えていますが、顧客サポートの点についてもインマルサットの強みであると上げています。「年々変化が激化する海運業界において通信プロバイダーは、適切な提案は勿論のこと、我々顧客の要求に応えるための専門知識を持ち、ローカル対応の十分なサポートが可能であることが必要不可欠です。人間関係や対応力が重要であり、技術もまた同様です。我々はまた、インマルサットのFleet Care・メンテナンスパッケージの価値も認識しています。次のステップとしては、我々は4隻の船舶すべてにデュアルGXアンテナを搭載し、通信プランをFX Premium MIR 6Mbps/3Mbps (with CIR) にアップグレードすることを検討しています。これにより通信が拡充され、業務面ではより効率的な管理が可能になるとともに、乗組員の福利厚生点でもさらなる向上が見込まれます」

2020年春に実施された、4,150gtの「Kurikoma」を皮切りに、4隻の乗り換えが実現しました。インマルサットのパートナーであるKGK Japanの技師が、Kuバンド→Kaバンドへのアップグレードキットを用いて本船既存のKu 1mアンテナをKaへ変更のうえ、Fleet Xpressへの乗り換え作業を行いました。インマルサットは、漁業という特殊な産業が投資の主要な受益者になり得ることを認識しており、このような前向きな漁業関係者からの支持を得ることができたのです。短期的には、インマルサットは、スペース・ノルウェーとの提携により、北極圏専用の2つの新しいGX衛星ペイロードを導入することで、北極圏のカバレッジをアップグレードする計画を進めています。

インマルサットは最近、既存の静止衛星（GEO）と新しい低軌道衛星（LEO）、地上波の5Gを統合したソリューションである未来の衛星ネットワークサービス「ORCHESTRA」を発表しました。また同時に、急速に進化するIoTに最適なグローバルナローバンドネットワークを提供するサービス「ELERA」を立ち上げました。すべての商業漁船は、いつでもどこでも必要なときに最高容量のシームレスな接続を提供する両ネットワークの恩恵を受けることが期待されます。例えばORCHESTRAでは、常時また平均的に、最高速度が利用可能であり、また通信の遅延も最低限に抑えることができます。



**ORCHESTRA**

CONNECTIVITY IN HARMONY

## THE COMMUNICATIONS NETWORK OF THE FUTURE



ELERA



FLEET  
XPRESS



TERRESTRIAL  
5G



LEO



# HOW TO BUY

Contact us for further information on Fleet Xpress:

[maritime@inmarsat.com](mailto:maritime@inmarsat.com)

[inmarsat.com/fleet-xpress](https://inmarsat.com/fleet-xpress)

While the information in this document has been prepared in good faith, no representation, warranty, assurance or undertaking (express or implied) is or will be made, and no responsibility or liability (howsoever arising) is or will be accepted by the Inmarsat group or any of its officers, employees or agents in relation to the adequacy, accuracy, completeness, reasonableness or fitness for purpose of the information in this document. All and any such responsibility and liability is expressly disclaimed and excluded to the maximum extent permitted by applicable law. Coverage as shown on maps is subject to change at any time. INMARSAT is a trademark owned by the International Mobile Satellite Organization, licensed to Inmarsat Global Limited. The Inmarsat LOGO and all other Inmarsat trademarks in this document are owned by Inmarsat Global Limited. © Inmarsat Global Limited. All rights reserved. April 2022.